「コミュニティスクール制度とは」
『学校・家庭・地域が共に知恵を出し合い学校づくりを進める仕組み』

古川 誠 議員

問 高鍋町の近年の取り組みの成果は。

教育総務課長 新型コロナウイルスの影響で開催を控えていたが、「子ども見守り活動」、「読み聞かせ」など再開をしている。

問 高鍋町が目指す子ども像は。

教育長 豊かな心・丈夫な体・確かな学力・高鍋を愛する子ども。

問 その目指す子ども像と教育理念の実現のためには、コミュニティスクールの推進が重要であると思うが。

教育長 現在の学校や子どもたちの抱える課題・問題は多様化し、対応もケースバイケース。コミュニティスクールが果たす役割は大きく、学校と地域が時間をかけ、一体となって取り組む必要がある。

問 協議を行う学校運営協議会の場が、先生方の悩みや愚痴を言える場になることで、本物のコミュニティスクールになると思うが。

教育総務課長 議員がおっしゃるとおりで、それぞれの困り事や思いを共有できる場になることが理想形だと思っている。

問 情報の共有、各部署の連携強化のため、教育福祉、重複している行政サービスなどの再整備を行ったほうがいいと考えるが。

教育長 密に連携しており再整備の必要性は感じていない。

意見 町民からの申請を待つのではない「プッシュ型の行政」を行っていくためには、縦の組織をいかに横でつないでいくかが大事なので、ぜひ町長にも検討をお願いしたい。

◆高校生までの医療費無償化について

問 町長の施政方針に「高校生までの医療費無償化の推進」と明確にあるが、現状、取組ができていない理由は。

町長 選挙公約でもあるし、コロナが一段落してから、その方向に進むべきだと考えている。

問 西米良村は自己負担なし。木城町、新富町、川南町は、

「防災に対する堤防のかさ上げは」
『計画的に整備していく』

春成 勇 議員

問 防災について、台風や豪雨対策のための小丸川や宮田川等の堤防のかさ上げが必要だが、国と協議は行っているか。

建設管理課長 小丸川で800m、宮田川で1800mの堤防のかさ上げを施工している。計画的に整備していくと国交省から伺っている。

◆コロナウイルス感染対策について

問 コロナ感染者が3月15日～6月14日までの3カ月の間に515名が感染し、町内では2倍になっているが対応は。

健康保険課長 町の対応は、感染確認の情報発信や感染症対策についてのお願いなどの取り組みを継続して行っている。

問 ワクチン接種で、町内の1回目、2回目、3回目の接種数と接種率は。

健康保険課長 6月6日現在で1回目15776名、接種率は77・9%。2回目11806名、77・3%。3回目1180名、64・6%。

問 他の自治体ではワクチンを廃棄しているが町内の現状は。

健康保険課長 現在のところ廃棄はない。

◆町道について

問 町内の道路が凹凸多いようだが今後の計画は。

建設管理課長 多額の予算を伴うので、危険な個所を優先して順次整備をしていきたい。

問 若葉台ニュータウンの擁壁に何ヶ所か亀裂が入っている。対策は考えているか。

建設管理課長 静岡県熱海市の大規模土砂崩壊があり、今年度、大規模盛土造成スクリーニング調査を行う予定である。今後の対策等を検討していく。

問 川田地区の県道木城高鍋線は、現在川田公民館前で道路改良が止まっているが、現在の状況は。

町長 竹鳩橋から南側の町道と木城に向かう交差点付近は、都市計画道路の変更手続き等を終えた後、県の都市計画審議会に諮る必要があり、土木事務所と協議

「住民票等のコンビニ交付導入の考えは」
『導入効果は承知しているので検討していく』

青木 善明 議員

問 マイナンバーカード利用でのコンビニ交付実施の県内自治体は。

町民生活課長 全ての9市、川南町、新富町、三股町の合わせて12の市と町。

問 当町におけるコンビニ等での各種証明書導入の考えとメリットは。

町民生活課長 役場窓口の開庁時間外や土日、祝日に全国のコンビニで取得でき、申請書の記入が省略できる。役場窓口の混雑緩和が図れる。

町長 導入効果は十分承知している。昨年度から検討を進めてきた。他市町村の動向も注視し、引き続き検討する。

◆主権者教育の推進について

問 選挙年齢が18歳に引き下げられて5年が経過し、本年4月から、成人年齢が18歳となり、これまで以上に政治参加や社会問題への関心を育てることが重要視され、より一層充実した主権者教育が求められているがそれについての考えは。

町長 将来の社会を支える児童生徒を含む若い方々が、社会の出来事に興味を抱き、自らの考えを持ち、政治的教養を身につけることは重要であると認識している。

教育長 学習指導要領に基づいて、授業として取り組んでいる。これからの社会を担う子どもたちに、主体的に国家及び社会の形成に参画するために必要な資質、能力を身につけさせるために、政治的教養に関する教育の充実を含めた取組を推進することが重要である。

問 今年は国政地方選挙の年だが、若年層の投票率は低い水準にとどまっている。総務省は選挙啓発や主権者教育に取り組み、関係機関と連携を図り投票率の向上に努めている。今後行われる国政地方選挙において、低い投票率が懸念されるが、その取り組みと課題は。

選管事務局長 意見を発表する「わけもんの主張」やポスター、書道展で政治選挙の重要性を訴えている。選挙時は有権者にチラシ配布、街頭啓発により町全体での選挙の機運の醸成を図っている。若年層の投票率の低さが課題であり、今後投票率向上の事業を関係機関と連携していく。

問 投票率向上に向けた町長の考えは。

町長 投票は有権者が直接政治に参加し、自らの意思を示す重要な機会。投票率向上を推進していくことは極めて重要で、様々な啓発活動をもって、投票率の向上に取組んでいく。

意見 行政サービスを通じて、個人や地域社会にデジタルによるメリットを誰も取り残さない形で広く行き渡らせていくことを要望します。

「マイナンバーカードでコンビニ交付」

問 自己負担があるものの一部助成。高鍋町でも例えば、所得制限を設けての助成や、1医療機関1000円以上を助成するなど、無償化ではないが、一部を助成する形での支援もできると思うがいかがか。

福祉課長 無償化と合わせて、導入可能な制度設計について検討してまいりたい。

意見 子どもは町の宝です。保護者の負担を減らすためにも、無償化、一部助成、ぜひ検討をお願いします。

「読み聞かせボランティアの様子」

問 し、事業施工をする予定である。

建設管理課長 川田地区のコメリ付近が浸水しているようだが、どのような対策をしているか。

問 最近のゲリラ豪雨等により一時的に冠水すると思われる。大雨時の様子を見ながら対応していく。

意見 現在はその当時より家屋が多く建てられ、台風や豪雨などで浸水被害を受けている。早急に県道と同様に道路整備を行っていただきたい。

「道路改良が待たれる川田地区の県道・町道」